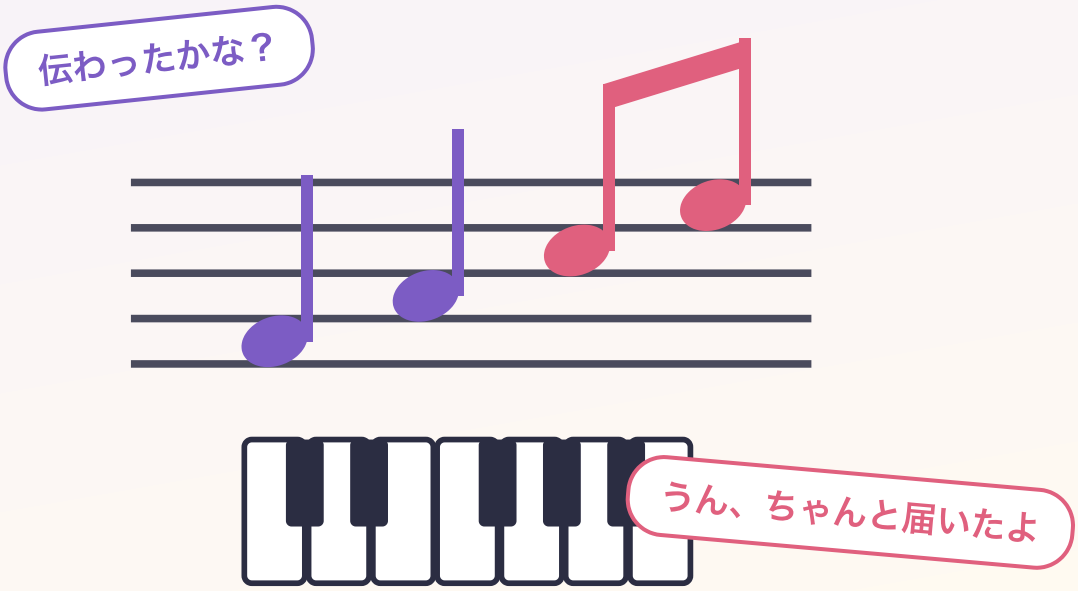
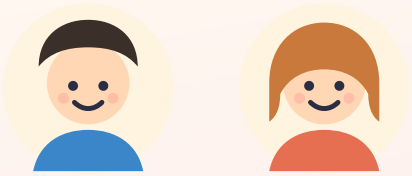
Season 10 | No.95



音楽で伝える

その一音に、気持ちをのせて



全30ページ | 無料教材

一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の使い方

1 声と体で感じる
音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましょう。

2 本物の音を聴く
この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まります。

3 「やってみよう」は手と体で
答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken（ケン）
音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma（エマ）
カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

伝えたい気持ちを形にする 3〜6
伝えるための技術 7〜10
伝わる演奏にする 11〜15
音楽で人とつながる 16〜19
練習しよう 20〜24
ふり返り 25〜30

Lesson 1

音楽で何を伝える？

音楽は、言葉にしにくい気持ちも届けられます。

演奏や歌は、ただ音を並べるだけでなく、**気持ちや思いを伝える手段**にもなります。
うれしい・悲しい・応援したいなど、言葉にしにくい気持ちも、音楽なら届けられることがあります。



ポイント

- 音楽で伝えられるのは、はっきりした意味だけではありません。
- 聴く人の心にどんな気持ちが生まれるかも、音楽の伝える力の1つです。
- 「うまく弾くこと」と「伝えること」は、少しちがう目的です。

やってみよう

1. 音楽で何かを伝えられた・伝えてもらったと感じた経験を書こう。

書いて覚えよう

Lesson 2

伝えたい気持ちを決める

演奏の前に、伝えたい気持ちをひとつ決めておきましょう。

ポイント

- 演奏する前に、「何を伝えたいか」を考えておくと、表現が定まりやすくなります。
- 「楽しい」「なつかしい」など、ひとことで気持ちを決めてみましょう。
- 気持ちが決まると、強弱や速さの選び方も自然と変わってきます。

やってみよう

1. 今練習している曲で、伝えたい気持ちをひとことで書こう。＿＿＿＿＿＿＿＿

ワンポイント 正解は1つではありません。あなたが感じたことを、大切にしましょう。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 3

曲の意味を深める

曲について知ると、伝える表現も深まります。

ポイント

- 曲名や歌詞、作られた背景を知ると、曲への理解が深まります。
- 曲が生まれた場面を想像すると、表現のヒントが見つかります。
- 知れば知るほど、演奏に込める気持ちも変わっていきます。

やってみよう

1. 今練習している曲について、知っていることを書こう。

書いて覚えよう

Lesson 4

表現の工夫

表現の工夫には、いくつかのポイントがあります。

表現を工夫するポイント

強弱　速さ　音色　間（ま）　表情・動き

この5つを少しずつ変えるだけで、同じ曲でも伝わり方が大きく変わります。

ポイント

- 表現の工夫は、これから学ぶいくつかのポイントの組み合わせです。
- 1つずつ意識するだけでも、演奏の伝わり方が変わっていきます。

書いて覚えよう

Lesson 5

強弱で伝える

音の大きさを変えると、演奏に表情が生まれます。

フォルテ
forte／f
強く

ピアノ
piano／p
弱く

ポイント

- 強弱を変えると、演奏に表情が生まれます。
- 大きい音は力強さや盛り上がりを、小さい音はやさしさや静けさを表せます。
- 強弱の差をはっきりつけると、伝わり方がぐっと変わります。

やってみよう

1. 好きな曲の中で、いちばん強弱の変化を感じる部分を書こう。＿＿＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson 6

速さで伝える

テンポを変えると、曲の印象が大きく変わります。

テンポ

tempo

曲の速さ

リタルダンド

ritardando

だんだんゆっくりにする

ポイント

- 速いテンポは元気さや緊張感を、ゆっくりなテンポは落ち着きや切なさを表せます。
- 少しずつ速さを変える工夫も、大切な表現の1つです。

やってみよう

1. 速さを変えて演奏すると、印象がどう変わるか試してみよう。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 7

音色で伝える

音色そのものが、気持ちを表すことがあります。

音色（ねいろ）
tone color
音の性質・色あい

奏法（そうほう）
playing technique
音を出す方法・弾き方

ポイント

- 同じ楽器でも、弾き方によって音色は大きく変わります。
- やわらかい音色、鋭い音色など、音色そのものが気持ちを表すことがあります。

やってみよう

1. いつもとちがう音色を、1つ試してみよう。

ワンポイント 声も楽器の1つ。やさしく話すように歌うと、音色に気持ちがのりやすくなります。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 8

間で伝える

音と音のあいだの「間」も、大切な表現です。

ポイント

- 音と音のあいだの「間（ま）」も、大切な表現の1つです。
- 少し間をあけることで、次の音への期待感が生まれます。
- 間をあけすぎると、流れが止まって聞こえることもあるので注意しましょう。

やってみよう

1. 曲の中で、間を大切にしたい部分を1つ見つけよう。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson 9

表情と動きで伝える

自然な表情や動きも、伝わる演奏の一部です。

ポイント

- 演奏中の表情や体の動きも、聴く人に伝わる要素の1つです。
- 曲の盛り上がりに合わせて、自然な動きが出ることもあります。
- 無理に演技をする必要はなく、音楽に集中した自然な様子で十分です。

やってみよう

1. 演奏中、体のどこに気持ちが出やすいか考えてみよう。＿＿＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson 10

ことばで補う

短いことばを添えると、気持ちがより伝わります。

曲名	
伝えたい気持ち	
聴く人へのひとこと	

Emma の例

曲名 思い出のメロディ／伝えたい気持ち なつかしさ／聴く人へのひとこと 昔を思い出しながら聴いてください

ポイント

- 演奏の前後に、短いことばを添えると、気持ちがより伝わりやすくなります。
- ことばと音楽、両方を使うことで、伝わる幅が広がります。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 11

聴く人を想像する

だれに向けて演奏するかで、表現の方向が定まります。

ポイント

- だれに向けて演奏するかを考えると、表現の方向が定まります。
- 家族、友だち、はじめて聴く人など、相手によって伝え方も変わります。
- 聴く人の立場を想像することが、伝える演奏への第一歩です。

やってみよう

1. 次の演奏を、だれに向けて届けたいですか。＿＿＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson
12

伝わったかを確かめる

感想を聞くと、伝わったかどうかがわかります。

ポイント

- 演奏のあとに感想を聞くと、伝わったかどうかがわかります。
- 自分が伝えたかったことと、相手が感じたことがちがうこともあります。
- ちがっていても、それも音楽の受け取り方の1つとして大切にしましょう。

やってみよう

1. 最近の演奏で、聴いてくれた人からもらった感想を書こう。

書いて覚えよう

Lesson 13

メッセージのある曲

曲の中には、はっきりしたメッセージが込められているものもあります。

応援する曲
元気や勇気を届ける曲

感謝を伝える曲
「ありがとう」の気持ちをこめた曲

平和を願う曲
争いのない世界を願う曲

ふるさとを歌う曲
生まれ育った土地への思い

季節を描く曲
自然の移り変わりを表す曲

物語のある曲
場面や出来事を描いた曲

ポイント

- 曲の中には、はっきりしたメッセージが込められているものもあります。
- メッセージを知って演奏すると、表現に深みが増します。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson
14-15

音楽で応援する・音楽でお祝いする

場面に合わせた音楽が、気持ちをより届けます。

応援する

元気を届ける

テンポの速い曲
勢いを伝える

力強い強弱
元気を届ける

お祝いする

喜びを届ける

明るい曲調
おめでとうの気持ち

みんなで演奏する
にぎやかさを表す

ポイント

- 場面に合わせて曲や表現をえらぶと、気持ちがより伝わります。
- 応援やお祝いの音楽は、昔から世界中で大切にされてきました。

やってみよう

1. 応援したい人、お祝いしたい人を1人思い浮かべて書こう。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson
16-17

音楽で思い出をつくる・音楽で人をつなぐ

音楽は、時間や場所をこえて人をつなぎます。

ポイント

- 思い出の場面に流れていた曲は、長く心に残ります。
- 同じ曲を知っていると、初めて会う人とも気持ちがつながることがあります。
- 音楽は、時間や場所をこえて、人と人とをつなぐ力を持っています。

やってみよう

1. あなたにとって思い出の曲を1つ書こう。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ワンポイント 何年たっても、その曲を聴くと当時の景色や気持ちがよみがえることがあります。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 18

伝える演奏の発表

学んだ工夫を、実際の演奏で使ってみましょう。

伝える演奏の計画

① 伝えたい気持ちを決める。② 表現の工夫を1つ選ぶ。③ 聴いてほしい人に向けて演奏する。

ポイント

- この教材で学んだ工夫を、実際の演奏で使ってみましょう。
- 1つでも「伝わった」と感じられたら、大きな一歩です。

書いて覚えよう

Lesson 19

まとめ

ここまでの内容を、自分の言葉で整理しよう。

まとめ　自分の言葉で書こう

1. 音楽で伝えられるものは何だと学びましたか。＿＿＿＿＿＿＿＿
2. 表現の工夫を1つ書こう。＿＿＿＿＿＿＿＿
3. 次に音楽で伝えたい気持ちは？＿＿＿＿＿＿＿＿

ポイント

- 音楽は、気持ちを言葉以外の形で届ける、豊かな手段です。
- 伝えたい気持ちを持って演奏すると、聴く人の心にも届きやすくなります。

書いて覚えよう

個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 20

聴いてくらべよう

気持ちをこめた演奏と、そうでない演奏を聴きくらべてみよう。

くらべるところ	気持ちをこめた演奏	こめていない演奏
強弱	変化がある	一定になりがち
速さ	場面に合わせて変わる	ずっと同じ
聴いた印象	気持ちが伝わる	単調に感じる

ポイント

- 同じ曲でも、気持ちのこめ方で印象が大きく変わります。
- 自分の演奏を録音して、聴きくらべてみましょう。

やってみよう

1. 気持ちをこめたときと、こめなかったときを録音して聴きくらべよう。

書いて覚えよう

Lesson
21-22

実際にやってみよう・ペアやグループで練習しよう

気持ちの伝え方を、実際に演奏で試してみよう。

A （元気に）この曲は、応援の気持ちで弾くね

B （聴いて）伝わったよ、元気が出た

A （静かに）今度はなつかしい気持ちで弾いてみる

B （感想を伝える）＿＿＿＿＿＿＿＿

ポイント

- 同じフレーズを、ちがう気持ちで演奏し、聴き手に感想を聞いてみましょう。
- 気持ちのちがいが伝わるかどうか、ペアで確かめ合いましょう。

やってみよう

1. 同じフレーズを2つのちがう気持ちで演奏し、ペアに当ててもらおう。

書いて覚えよう

Lesson 23-24

よくあるつまずき・上達のコツ

つまずきを知ると、対策が立てやすくなります。

つまずき

よくあること

表現が一定になる
強弱や速さの変化が少ない

気持ちが先行しすぎる
技術がついていかない

伝わったか不安になる
自分では判断しづらい

コツ

こうしてみよう

1曲に1つ工夫を決める
変化をつけやすくする

基礎練習も続ける
技術が表現を支える

人に聴いてもらう
感想で確かめる

ポイント

- 表現の工夫は、少しずつ増やしていくのがコツです。
- 技術の練習と表現の練習、両方をバランスよく続けましょう。

やってみよう

1. 次の練習で試したい表現の工夫を1つ書こう。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson 25

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

表現の工夫

- ☐ **強弱**
  音の大きさの変化
- ☐ **テンポ**
  曲の速さ
- ☐ **音色**
  音の性質・色あい

伝える工夫

- ☐ **間（ま）**
  音と音のあいだの時間
- ☐ **表情と動き**
  体で表す気持ち

聴く人のために

- ☐ **聴く人を想像する**
  相手に合わせた表現
- ☐ **伝わったかを確かめる**
  感想を聞くこと

音楽の力

- ☐ **メッセージのある曲**
  伝えたい思いが込められた曲
- ☐ **音楽で人をつなぐ**
  時間や場所をこえてつながる力

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。言葉を知ると、表現の工夫を人にも説明しやすくなります。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 26

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

強弱	ア. 曲の速さ
テンポ	イ. 音の性質・色あい
音色	ウ. 音の大きさの変化
間（ま）	エ. 相手に合わせた表現をすること
聴く人を想像する	オ. 音と音のあいだの時間

2. 正しいほうに○をつけよう

1. 元気を伝えたいときは →（ ゆっくり弱く ／ 速く力強く ）
2. 伝わったかどうかは →（ 自分だけで判断する ／ 感想を聞いて確かめる ）
3. 表現の工夫は →（ 一度に全部増やす ／ 少しずつ増やす ）

書いて覚えよう

Lesson 27

ふり返りチェック

できるようになったことを確かめよう。

☐	伝えたい気持ちを決めて演奏できる	目的を持つ力
☐	強弱や速さで表現を変えられる	表現の工夫
☐	間を意識して演奏できる	間（ま）の力
☐	聴く人を想像して演奏できる	伝える意識
☐	感想を聞いて確かめた	確認する力

ポイント

- ✓がつかなかった項目は、もう一度そのページにもどってみましょう。
- 少しずつ増やしていけば十分です。

書いて覚えよう

Lesson 28

家でできる練習

毎日の練習に、伝える意識を少し加えよう。

朝
今日伝えたい気持ちを決める

練習中
強弱をつけて演奏する

録音
気持ちをこめた演奏を録る

家族に
ひとこと添えて演奏を聴いてもらう

夜
伝わったかどうかをふり返る

週末
感想を聞いてみる

ポイント

- 特別な練習ではなく、毎日の練習に「伝える意識」を少し加えるだけで十分です。

書いて覚えよう

Lesson
29-30

発表してみよう・感想を書こう

学んだことを、実際の演奏でためしてみよう。

演奏した曲	
伝えたかった気持ち	
工夫した表現	
もらった感想	

Ken の例

演奏した曲 お気に入りの1曲／伝えたかった気持ち 感謝／工夫した表現 最後をゆっくり弱く／もらった感想 気持ちが伝わってきた

感想を3文で書こう

① 今回は、〜な気持ちを伝えたくて演奏しました。② 工夫したのは、〜です。③ 感想を聞いて、〜と感じました。

書いて覚えよう

Lesson
31-32

もっと知りたい人へ・次のステップ

伝える力は、これからも磨いていけます。

もっと知りたい人へ

演奏会で
表現豊かな演奏を聴く

歌詞や背景を
曲の意味を調べてみる

動画で
表情や動きを見て学ぶ

次のステップ

オリジナル曲の発表
自分の作品で伝える

音楽仲間をつくる
伝え合う仲間を広げる

教える・伝える
伝える力を人に教える

ポイント

- この教材の次は「オリジナル曲の発表」。自分でつくった音楽で、気持ちを伝えてみましょう。

書いて覚えよう

Lesson 33

学んだことをまとめよう

この教材で学んだことを、自分の言葉でまとめよう。

まとめ　自分の言葉で書こう

1. 音楽で伝えるために大切なことは？ _____
2. あなたが得意な表現の工夫は？ _____
3. これから伝えたい気持ちは？ _____

伝える演奏ミッションカード

MISSION 1
伝えたい気持ちを決めて1曲演奏する

MISSION 2
強弱を意識して練習する

MISSION 3
だれかに感想を聞く

MISSION 4
思い出の曲を1曲演奏する

できたミッションに✓をつけよう：　☐1　☐2　☐3　☐4

書いて覚えよう

個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 34

音楽で伝えるチャレンジ

教室の外でも、伝える演奏はすぐに練習できます。

決めよう

次の演奏で**伝えたい気持ち**を1つ決める

工夫しよう

強弱か速さをどちらか意識して演奏する

聞こう

聴いてくれた人に**感想**を1つ聞く

こたえ

L19 （例）気持ちや思い出／強弱や速さの工夫／これから伝えたい気持ち

L26 強弱→ウ テンポ→ア 音色→イ 間（ま）→オ 聴く人を想像する→エ　2. 速く力強く ／ 感想を聞いて確かめる ／ 少しずつ増やす

L33 （例）伝えたい気持ちを決め、表現を工夫して届けること。

書いて覚えよう

音楽で伝える（Season 10 ｜ No.95）
発行：一般社団法人文化芸術支援協会
この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。
有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。
くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。